

乾田V溝直播管理情報 (第1号)

令和8年3月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

播種後の水管理と確実な除草剤散布で、出芽・苗立ちを確保しましょう！

- ① 苗立ち安定・鳥害回避のため、ほ場が乾いた状態で、V溝の深さ5cm程度で播種しましょう
- ② 本葉が2枚出るまでは、ほ場内に水たまりができないよう、排水対策を徹底しましょう
- ③ 最初の除草剤は、出芽前のタイミングを外さず散布しましょう

1 播種の準備

- ① ほ場は、クローラーが沈下しない程度まで十分に乾かしましょう。
- ② 施肥量は、LPss 乾田直播専用を土壌区分により設定し、播種量は、乾籾で6～8kg/10aが目安です。

土壌区分	LPss 乾田直播専用(40-0-0)		10a当たり播種量
	10a 当たり施用量	全チツン成分	
砂壤土	21～24kg 程度	8.4～9.6 kg	乾籾6～8kg (目標苗立ち数:30～40 本/m)
壤質土	19～22kg 程度	7.6～8.8 kg	
粘質土～半湿田	17～20kg 程度	6.8～8.0 kg	

コシヒカリ
の場合

2 種子処理

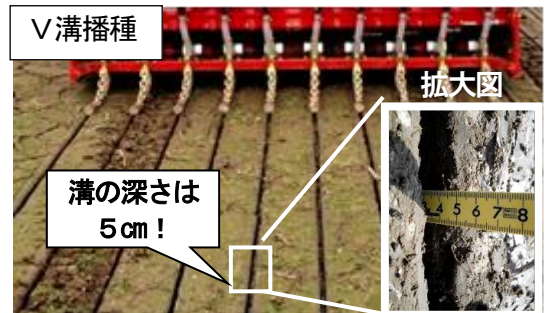
- ① 種子消毒は、キヒゲンR-2フロアブルで行いましょう。
- ② 種籾にF S剤を塗抹処理することで、本田での防除作業が不要になり、労力を削減出来ます。

【キヒゲンR-2フロアブル】

防除時期	播種前
希釈倍率	乾燥種子 1kg 当たり原液 20ml
使用方法	塗抹処理 (種子を均一に塗抹)
適用病害虫	苗立ち枯病 (ピシム菌)、ごま葉枯れ病、いもち病、ばか苗病

3 播種

- ① 播種は、4月中旬～下旬に行いましょう。
(播種が早すぎると除草剤散布タイミングが難しくなります)
- ② ほ場がよく乾いた状態で播種を行いましょう。
- ③ 苗立ち安定・鳥害回避のため、V溝の深さ5cm程度に播種され、適度に覆土されているか確認しましょう。
(プレートリール→ケブブリッジローラー体系の場合は、深さ2～3cm程度)

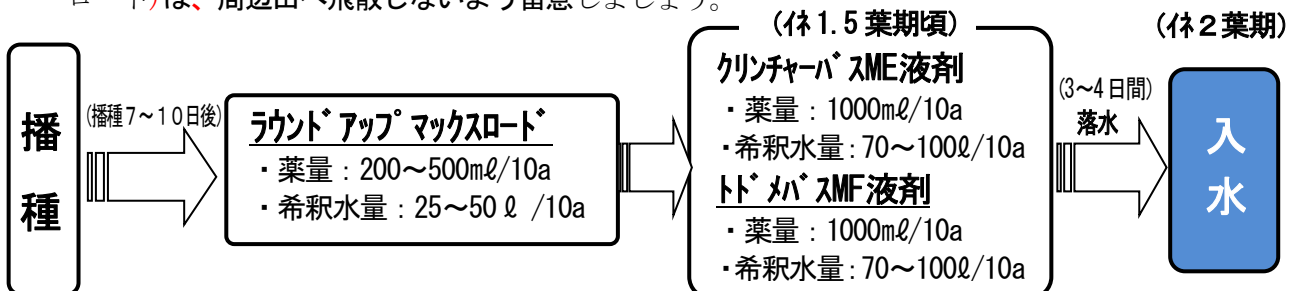


4 播種後の水管理

- ① 芽が出揃う(本葉1～2葉)までは、ほ場内に水たまりができないように排水溝の手直し等を行い、迅速な表面排水に努めましょう。
- ② 播種後、無降雨日が続いた場合は、播種後1週間目と2週間目の2回、通水処理(1～2日程度の浅水管理後に強制落水)を行って、出芽を促進しましょう。
- ③ 周囲の移植田等からの浸水や湛水後の漏水を防ぐため、畦畔の補修点検を行いましょう。

5 除草剤の散布

- ① 除草剤は、使用基準を守って正しく散布しましょう。特に、非選択性除草剤(ラウンドアップマックスロード)は、周辺田へ飛散しないよう留意しましょう。



入水以降の除草剤については、次号(4月下旬発行予定)でお知らせします。

春の農作業安全運動実施中(3月1日～5月31日)
～農作業事故ゼロを目指して、事故防止対策を徹底しましょう!～